

令和2年度 データヘルス計画の評価

《中長期目標》

項目	指標	目標値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	備考		
医療給付費	1人当たりの医療費の伸び(前年度比)	1.58%	1.58%	0.89%	△2.07%	11.23%	△5.26%	10.19%	5.77%			
虚血性心疾患	急性心筋梗塞の標準化死亡比(SMR)	R2年度の値は、 H27-R元	男性	1.00	1.02	1.95	1.95	2.45	2.60	2.76	2.35	全国平均を1としている。1より大きい場合は全国平均より死亡率が高い。
			女性	1.79	2.12	3.08	1.98	2.72	2.30	2.50	2.86	
ジェネリック医薬品	ジェネリック医薬品の使用	80.0	62.8	70.9	74.4	78.2	79.7	79.8	81.4			

《短期的目標》

項目	指標	目標値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	備考
メタボリックシンドローム	メタボリックシンドローム該当者及び予備群	30.0%	31.7%	30.9%	33.8%	33.4%	36.0%	34.4%	28.6%	
高血圧症	特定健康診査の結果 II度、III度高血圧の割合	3.5%以下	3.9%	4.5%	3.9%	7.9%	5.7%	3.9%	2.2%	
糖尿病	特定健康診査の結果 HbA1c6.5%(治療中7.0%)以上の割合	4%以下	4.1%	4.7%	4.7%	6.5%	7.6%	8.9%	3.1%	
脂質異常症	特定健康診査の結果 中性脂肪 300mg/dl以上の割合	1.3%以下	1.5%	1.9%	1.9%	1.9%	2.4%	1.8%	2.2%	
特定健康診査	特定健康診査受診率	60.0%	55.5%	56.4%	57.2%	57.4%	57.5%	57.9%	29.6%	目標値は保健事業計画による
特定保健指導	特定保健指導利用率	40.0%	8.3%	5.1%	11.0%	29.9%	44.1%	41.4%	49.3%	目標値は保健事業計画による
運動習慣	健診の質問票で、運動習慣なしと回答した人の割合	65%以下	データなし	データなし	71.6%	69.8%	61.2%	60.4%	58.2%	※R3～掲載

評価	<p>《中長期目標》</p> <p>ジェネリック医薬品の使用については、年々上昇傾向にあり同様の取組を継続します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 虚血性心疾患の標準化死亡比は高止まりの状態です。重症化予防事業を継続する必要があります。 <p>《短期目標》</p> <p>メタボリックシンドロームは減少傾向がみられます。国・県・同規模を下回るように取り組みを継続します。</p> <p>高血圧症、脂質異常症の数値は若干改善がみられました。一方、糖尿病は年々大幅に増えています。</p> <p>特定健康診査受診率は、感染症の影響を受けて半数程度に落ち込みました。感染症対策を講じた安全な健診体制の確立を目指します。</p> <p>特定保健指導利用率は、対象者が少なかったため目標を大幅に上回りました。健診受診率が回復後も利用率が大幅に下がらないように丁寧な取り組みを目指します。</p> <p>《総合評価》</p> <p>特定保健指導は、目標値達成の継続に向け、感染症対策を講じながら取り組みを継続する必要があります。</p> <p>高血圧症、脂質異常症は、少しずつ改善がみられるため、引き続き健康教育や生活改善に取り組む必要があります。</p> <p>糖尿病(HbA1c)の有所見者率は、令和2年度は減少しましたが感染症の影響を受けた可能性があるため継続して注視していく必要があります。</p> <p>令和元年度までは増加傾向がみられるため、糖尿病性腎症重症化予防プログラムに従い、医療機関等と連携し、着実に実施する必要があります。</p>
----	--